

MARKET ANGLE in LIVING

FITNESS

MAIL

SUMMER
2023

マーケターが市場の動向を切り裂く、インテリジェンス・ペーパー

*What are the unconventional
sports business initiatives of today?!*

型にはまらない 今どきの スポーツ事業の 取り組みって?!

何かと話題のChatGPTは
フィットネス業界に
どんな影響を与えそうか?
スポーツブランドが仕掛けた
サステナビリティプロジェクトとは?
今号は、スポーツ事業の枠に捕らわれない
2つのトピックを紹介する。

ユニフィット社員が最新「バズ」リ情報を切り抜くコラム

Buzz clipping

コロナ制限もなくなり
イベントなどに出かける
機会も増えてきました!

UNIFIT

www.unifit.co.jp

TAKE FREE

Will ChatGPT impact the fitness industry?

ChatGPTはフィットネス業界に影響を及ぼす？

最近話題のChatGPT。会話型で質問に数秒で答えてくれるため、検索のように大量の情報から自分の欲しい情報を選択する手間が省けるのが魅力的であり、現在はビジネスで活用することも一般化しつつある。そんなChatGPTはフィットネス業界にどんな影響を与えそうか。考えうる活用法で実際に質問してみた。

食事管理のメニューを聞いてみた

考えられる例の1つ目として食事のメニューを提案してもらった。具体的には、痩せるためのメニューを質問すると下記のような回答が返ってきた。当然、体質や健康状態に左右されるため医師や栄養士の指導を受けながら調整することを推奨しながらも、具体的に食事メニューを教えてもらうことができた。これが本当に正しい食事管理のメニューなのかは定かではないものの、内容を見る限り明らかに的を外れない内容はなさそうだ。ちなみに下記は1日の食事メニューだったが、その後1週間別々のメニューで提案して欲しいと質問したところキッチリと1週間別々のメニューで提案がされた。また中にはどんな料理か想像しづらいものもあったが、その料理の作り方も更に聞くとそれも回答してもらうことができた。

〈質問〉1カ月で5kg痩せるための1週間の食事メニュー教えて

〈解答〉【朝食】
・オートミールにフルーツとナッツをトッピングしたボウル
・グリーンスムージー(バナナ、ペイスピナッチ、アーモンドミルク、チアシード)
・無糖ヨーグルトに蜂蜜とシナモンをかけたフルーツサラダ
【昼食】
・グリルチキンサラダ(鶏胸肉、レタス、トマト、キュウリ、玉ねぎ、オリーブオイルドレッシング)
・オープン焼き野菜(ズッキーニ、パプリカ、エリンギなど)
・さつまいものスープ
⇒このまま間食・夕食・夜食と続く

トレーニングメニューを聞いてみた

考えられる例の2つ目としてトレーニングメニューを聞いてみた。具体的には体脂肪率を絞るためのメニューを質問すると下記のような

回答が返ってきた。当然これも医師やトレーナーに相談することを推奨しつつ月曜日から金曜日まで上半身・下半身・全身・有酸素運動に分かれてそれぞれやることを教えてもらうことができた。また先に身長や体重・年代や性別、現在の体脂肪率を教えるから再度提案してもらうように質問するとそれに合わせて、1セットの回数やメニューが調整されて返答がくる。

〈質問〉1カ月で体脂肪率2%絞るためのトレーニングメニューを教えて

〈解答〉【月曜日】ウェイトトレーニング(上半身)
・ベンチプレス3セット×8-10回
・ラットプルダウン3セット×8-10回
・ショルダープレス3セット×8-10回 etc
【火曜日】有酸素運動(下記から選択)
・ランニング30分
・サイクリング30分
・スイミング30分 etc
⇒このまま水曜日⇒木曜日と続く

実際に使ってみて…

実際に使ってみると、やはり最初に感じるのには本当にこれで大丈夫？という権威性の心配だ。例えばトレーニングメニューもこれが最適なのか不安は残る。しかし重要なのはより具体的に質問が既に返ってくることだろう。特にChatGPTは今後よりデータを蓄積していき、精度は間違えなく上がっていくだろう。そうなった際に実際にメニューはAIに任せる人も増加しそうだ。もしそのような未来が待っているとすれば、フィットネス業界の中でもトレーナーという職業はより管理体制やモチベーションサポートの部分が優位性として重要になっていく可能性が高そうだ。



writer's voice

マーケティング・プランニンググループ 大山 恭平

Kyohi Oyama

みなさんはChatGPT使ったことがありますか？
プログラミングやエクセルの計算式など専門的なことも教えてもらえるので将来の可能性を感じます。

Just 10 minutes of exercise will donate 1 euro!

たった10分間の運動が1ユーロの寄付に！

アディダス ジャパンが、運動することで地球環境や将来のスポーツ環境に貢献できるプロジェクト「MOVE FOR THE PLANET」を始動！
スポーツを通して、サステナビリティの啓蒙を促すプロジェクト、とは。

地球のために、動き出そう

アディダスとCommon Goalは、スポーツを通して、コミュニティにおけるサステナビリティの啓蒙に取り組むプロジェクトを世界中の多様な地域から選び、共通のミッションを掲げて支援を行っている。今年(2023年)は2023年6月1日(木)～6月12日(月)の期間中、「地球のために、動き出そう」をメッセージに、ひとりひとりの運動を未来のスポーツ環境を守るアクションへと繋げる、新たな世界規模のサステナビリティムーブメント「MOVE FOR THE PLANET(ムーブ・フォー・ザ・プラネット)」を実施した。昨年までは「RUN FOR THE OCEANS」という、スポーツを通して海洋プラスチックごみ問題に取り組むアクションを行い、日本からは約6万人が参加した大きな取り組みとなった活動である。



出典元:「アディダス」ホームページより

スポーツを通じてできること

この活動は、期間中に「アディダス ランニングアプリ」から誰でも簡単に参加ができ、10分間の運動を行うごとにアディダスが未来のスポーツ環境を守るために1ユーロを寄付するというもの。寄付金はスポーツを通して社会変革を目指すプロジェクト「COMMON GOAL」を介し、気候変動による重大な影響を受けている様々な国(コロンビアやパキスタンなど)や地域の支援に充てられる。このプロジェクトの開始に際し、「adidas MOVE FOR THE PLANET キックオフチャレンジ」が開かれた。これはアスリートたちが10分間でサッカー・バスケットボール・卓球など、いつもとは違うスポーツを全力でチャレンジするもので、アディダス契約アスリートの阿部 一二三&詩選手(柔道)や、五郎丸選手(ラグビー)、横浜F・マリノス(サッカー)／アルバルク東京(バスケット)の各選手+マスコットキャラクターがゲストで参加。様々な競技のアスリートがひとつに集結した豪華なイベントとなった。この「アディダス ランニングアプリ」では、34のスポーツが計測対象。ハイキングやテニス、散歩まで幅広い方が楽しめるアクティビティが入っている。またこのプロジェクトの開催期間中に、様々なアディダスアスリートが「1日店長」として各地のアディダス直営店に登場するイベントや、プロギンセッションも開催された。たった10分間の運動が、地球環境や未来のスポーツ環境を守る力になると思うと、今すぐ始めずにはいられない。とはいえ、今年のイベントは終了してしまった。今年(2023年)はなんと150万ユーロを寄付したそうだ。来年以降の活動に注目するだけでなく、アプリを開いて10分の運動でちょっといいことを、体験してみたい。



writer's voice

クリエイティブグループ 井上 真帆

Maho Inoue

たった10分、さらにアプリを使って、という気軽な条件なので、運動&環境問題にも興味を持つきっかけ作りにもいいですね。